

日本カプセル内視鏡学会支援

「大腸カプセル内視鏡の有効性・安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究」

(Japan multicenter prospective study of usefulness, safety, and compliance of colon capsule endoscopy)

略称: ColoCam-J study



日本カプセル内視鏡学会 理事長 田尻久雄

研究総括: 後藤 秀実 (名古屋大学大学院医学系研究科 消化器内科学)

松井 敏幸 (福岡大学筑紫病院 消化器内科)

事務局: 大宮 直木 (藤田保健衛生大学 消化管内科)

目的

本研究の目的は大腸カプセル内視鏡の国内多施設共同研究により、大腸カプセル内視鏡の前処置・ブースタ別の全大腸観察率、大腸内視鏡所見との対比によりその有用性を検証する。

また、偶発症、被験者アンケートにより安全性、受容性も検証する。

対象

- 便潜血反応陽性、その他検査において大腸腫瘍・ポリープが疑われる患者
- 顕血便や長期間の便秘・下痢等の症状を有し医師が大腸検査の必要性があると判断した患者

※ 大腸検査受診歴の有無は問わない

実施期間

2016年7月～2018年12月31日

観察項目

- 被験者の臨床情報
- カプセル内視鏡所見
- 大腸内視鏡所見
- 病理所見

Authors Ship

登録症例順、最多登録施設が1st author

募集要項

〈対象施設〉

大腸カプセル内視鏡検査を施行する、日本カプセル内視鏡学会員が存在する施設

〈研究参加の申し込み〉

裏面 i 参照

※ 本研究に参加するにはIDとパスワードが必要です。
本研究事務局にお問い合わせください。

本研究事務局: 藤田保健衛生大学消化管内科

e-mail: shokakan@fujita-hu.ac.jp

Tel: 0562-93-9240 Fax: 0562-93-8300

患者登録方法

裏面 ii 参照

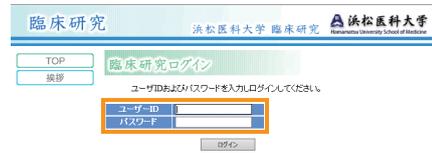
i ColoCam-J臨床研究サーバー登録の手順

1 浜松医科大学臨床研究管理センターのWebサイトに入る。
リンク: https://hama-med-cr.net/CRNet_SMT/

2 ユーザーIDとパスワードを入力する。

3 「大腸カプセル内視鏡の有効性・安全性・受容性に関する多施設共同前向き研究」をクリックする。

※ プロトコルには藤田保健衛生大学倫理委員会に申請した計画書が入っています。
倫理委員会迅速申請の際にご参考ください。



ii 患者登録の手順

1 患者登録をクリックして、「患者(基本情報)の登録」の「登録画面へ」をクリックする。

2 報告者情報、患者情報を入力する。

3 入力を終わったら順次ブースタをそれぞれ入力する。
最後に、「登録して閉じる」をクリックする。



参考: 結果入力の仕方

1 患者(固有情報)の登録・修正の、「臨床報告(経過報告)の登録画面」をクリックする。

2 一番右列の「選択文書編集」をクリックする。
全て入力したら右上の「登録して閉じる」をクリックする。



研究アドバイザー(敬称略):

東京慈恵会医科大学先進内視鏡治療研究講座・教授・田尻久雄(オブザーバー)、名古屋大学大学院消化器内科学・教授・後藤秀実(オブザーバー)、
福岡大学筑紫病院臨床医学研究センター・教授・松井敏幸(オブザーバー)、岩手医科大学消化器内科消化管分野・教授・松本主之、国立がん研究センター中央病院内視鏡センター・科長・斎藤豊、
国立がん研究センター中央病院内視鏡センター・医長・角川康夫、がん研有明病院下部消化管内科・副部長・斎藤彰一、東京慈恵会医科大学総合健診・予防医学センター・センター長・加藤智弘、
慶應義塾大学内視鏡センター・教授・緒方晴彦、慶應義塾大学内視鏡センター・専任講師・細江直樹、横浜市立大学医学部肝胆膵消化器病学・教授・中島淳、
名古屋大学大学院消化器内科学・助教・中村正直、大阪市立総合医療センター消化器内科・副部長・渡辺憲治、大阪医科大学第2内科・教授・樋口和秀、広島大学大学院内視鏡医学・教授・田中信治、
広島大学大学院内視鏡医学・講師・岡志郎、福岡大学筑紫病院消化器内科・助教・二宮風夫、浜松医科大学臨床研究管理センター・教授・古田隆久